

LONSEAL

WATER PROOFING SYSTEMS



建材・防水本部	〒105-0021 東京都港区東新橋2-3-17 モメント汐留11F	TEL.03-6452-8914	FAX.03-6452-9157
東京支店	〒105-0021 東京都港区東新橋2-3-17 モメント汐留11F	TEL.03-6452-8914	FAX.03-6452-9157
札幌支店	〒060-0042 札幌市中央区大通西12-4-69 あいおいニッセイ同和損保札幌大通ビル6F	TEL.011-271-0411	FAX.011-271-0422
仙台支店	〒981-0915 仙台市青葉区通町2-5-28 アクス通町5F501号	TEL.022-301-8788	FAX.022-301-8767
北関東支店	〒331-0812 さいたま市北区宮原町3-376-1 サンフィール大宮宮原403号	TEL.048-664-1511	FAX.048-664-3431
横浜支店	〒231-0013 横浜市中区住吉町1-14 第一総業ビル6F	TEL.045-662-7370	FAX.045-661-0860
名古屋支店	〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-6-27 EBSビル4F	TEL.052-950-3200	FAX.052-950-3213
大阪支店	〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-9-27 新大阪メイコービル4F	TEL.06-6304-2700	FAX.06-6304-6948
広島支店	〒732-0827 広島市南区稲荷町2-16 広島稲荷町第一生命ビルディング4F	TEL.082-506-2500	FAX.082-506-2514
福岡支店	〒812-0008 福岡市博多区東光2-6-6 第3フジクラビル2F201号	TEL.092-472-5857	FAX.092-473-6179
設計営業G	〒105-0021 東京都港区東新橋2-3-17 モメント汐留11F	TEL.03-6452-9194	FAX.03-6435-9808

ホームページアドレス <https://www.lonseal.co.jp/>

ロンプーフ防水事業協同組合

ホームページアドレス <http://www.lonproof.or.jp/>

事務局 〒105-0004 東京都港区新橋3-6-4 日吉ビル4F TEL.03-6812-7051(代) FAX.03-6812-7052



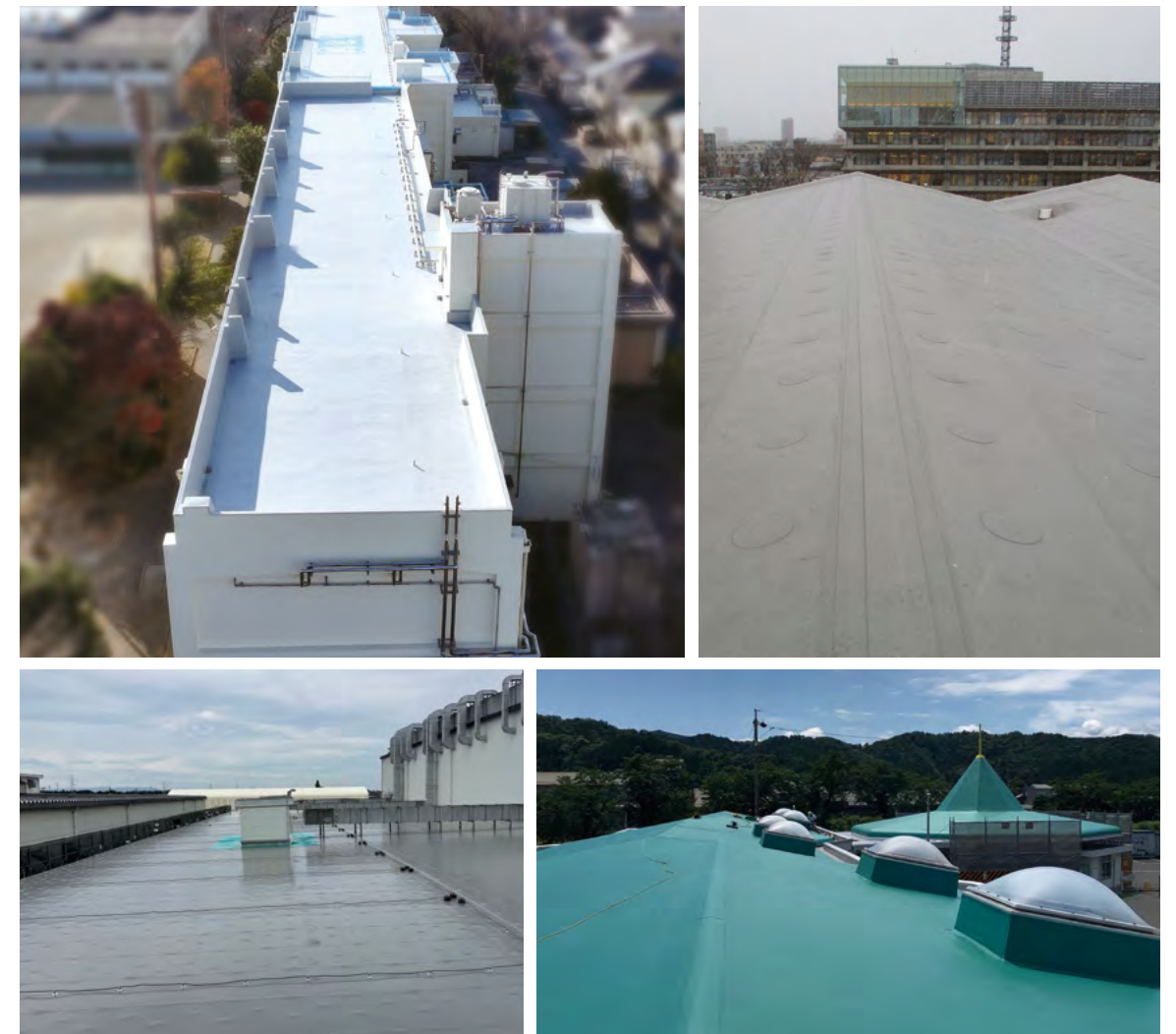
※印刷の都合上、実物と多少異なる場合がございます。予めご了承ください。
※当カタログは、発行時点の仕様・商品情報に基づいて作成しております。
そのため、都合により予告なく仕様変更・廃番・色柄の改訂を行う場合もございます。
※当カタログは、仕様・商品の概略のみ記載しております。詳細につきましては、シート防水システムカタログ・各仕様カタログなどをご確認ください。
※当カタログの無断掲載、複製を禁じます。
※弊社は、ロンシール機器株式会社と資本関係その他一切関係がございません。

お問い合わせ・お申し込みは

2025年10月版

このカタログは印刷インキに大豆インキを使用しています。
大豆インキはVOC(揮発性有機化合物)の発生が少なく、地球環境の保全に貢献します。

2025.10.S3.2.G.G



WATER PROOFING SYSTEMS RENEWAL GUIDE

塩ビシート防水システム 改修ガイド

ロンシール工業は塩ビシート防水のパイオニア

ロンシールが日本で初めて塩化ビニル製品の製造に成功してから半世紀以上。
車両屋根への採用を機に安心と信頼の防水を 60 年以上築き上げています。
これまで改修工事のみならず新築工事においても多くの建物で採用されています。

塩ビシート防水のはじまりは車両の屋根から

1951 年に桜木町事故と呼ばれる大規模な車両火災が発生。この事故を契機に難燃性の屋根材が求められ、1952 年に旧国鉄車両の屋根に採用されたことがスタート。



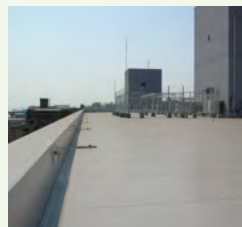
初めて建築物の屋根に採用

車両屋根の技術を基に研究・開発を行い、1957 年に初めて建築物の屋根に採用されました。これが日本国内で塩化ビニル樹脂系シートを採用した初めての事例となります。



集合住宅、施設、工場、倉庫など様々な屋根に防水を手掛けております。
累計 8000 万㎡以上の実績

建材・防水本部



建築物の屋上をしっかりと守る。
環境問題まで見据えた、ロンシールのシート防水システム。

国内メーカーとして初めて防水シートの開発・製造に成功し、安心と信頼の防水を 60 年以上築き上げてきました。シート防水のパイオニアとして防水材料の基本性能の向上はもとより、環境との調和、資源リサイクルの問題など、防水技術の粋にとどまらない進化を追及してきました。



人が集う、家族が憩う。
居住空間の基本を支える、
ロンシールの床材。

独創的な発想と先進の技術力を活かし、環境保全と安全性に配慮した床材を開発し、学校、図書館、マンションの外廊下、医療施設、店舗スペースなど、さまざまな生活空間に床材を提供しています。



高品質なシステム防水を
住宅メーカーへ供給。

ロンシールの高品質なシステム防水は、商業施設や公共施設、マンションなど、大規模な施設だけでなく国内大手住宅メーカーに向けても展開しています。

産業資材本部



住空間をやさしく
コーディネート。
ロンシールの壁装材。

生活空間の中で、内装材としてはもっとも身近な存在の壁紙。ロンシールは意匠性と機能性、健康への安全性などを追求した製品を国内大手ディストリビューターへ供給しています。



日常の中で活躍。
ロンシールの車両用床材や
機能性フィルム。

建築用床材で培った技術をさらに高め、鉄道・バスなどの車両用床材へ展開しています。また、高い加工・配合技術及び品質管理により、半導体・電子部品用などの機能性フィルム分野へも進出しています。

塩化ビニルは環境にやさしい材料です

塩化ビニルはプラスチック素材の中でも地球環境への負荷が最も少なく、リサイクル性にもすぐれた省資源型の素材です。

■ 原料の 6 割は天然の塩由来。化石原料の石油は 4 割と資源の節約に貢献

多くのプラスチック素材は石油を 100%原料とするのに比較して、塩化ビニルは省資源で製造できる素材です。

■ 他のプラスチック材料に比べて製造・焼却時の CO₂ 発生が少ない

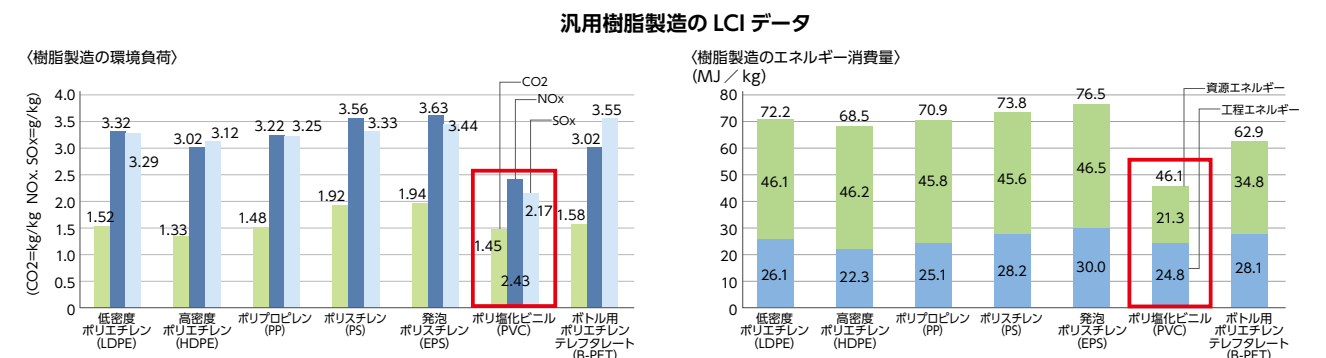
製品の製造段階で発生する環境負荷物質には CO₂ (二酸化炭素)、SO_x (硫黄酸化物)、NO_x (窒素酸化物) とともに他の樹脂の中で最も低いレベルにあり、環境負荷物質の面からもすぐれた素材として再評価されています。

■ リサイクル性にもすぐれ、省資源型素材として高い評価

石油採掘から塩ビ樹脂製造までの工程エネルギーは他の樹脂と比べて大きな差異はありませんが、重さの半分以上を塩素で占める塩化ビニルの資源エネルギーは他樹脂の半分以上であることからエネルギー負荷が最も少ないすぐれた素材です。

汎用樹脂製造のエネルギー消費量を表す LCI データ

LCI (ライフサイクルインベントリ) とは、製品を製造や使用、廃棄・リサイクルといったライフサイクルを通じて排出される CO₂ や消費する資源の量、発生する廃棄物などの環境負荷物質の量を計算したものです。



出典：塩ビ工業・環境協会ホームページ資料
(一社) プラスチック循環利用協会「石油化学製品の LCI データ調査報告書」2009.3 参照)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ロンシール工業は SDG s にも積極的に取り組んでいます

塩化ビニル樹脂 省資源化に貢献



遮熱性製品 屋根の温度を下げて、ライフサイクルコストも低減



太陽光パネル設置工法 屋上防水と太陽光パネルを一体化できる設置工法



高耐久性製品 耐久性の高い製品により改修サイクルを延長



防水改修の必要性

建物はどんなに頑丈な作りであっても、時間の経過とともに劣化していきます。建物の劣化が進むと表面に小さな亀裂が発生し、雨水が入り込んで漏水につながってしまいます。それを防ぐためには屋上防水による保護が必要不可欠です。しかし、屋上防水も経年劣化するため、定期的に改修を行い防水性能を維持する必要があります。

屋上防水層に問題があると、建物へ雨水が侵入



漏水をほったらかしにしていると、修繕費用の負担も大きくなります。
建物内で漏水が発生すると復旧に多額の費用が掛かります。
漏水が発生する前に、防水層の改修が必要となります。

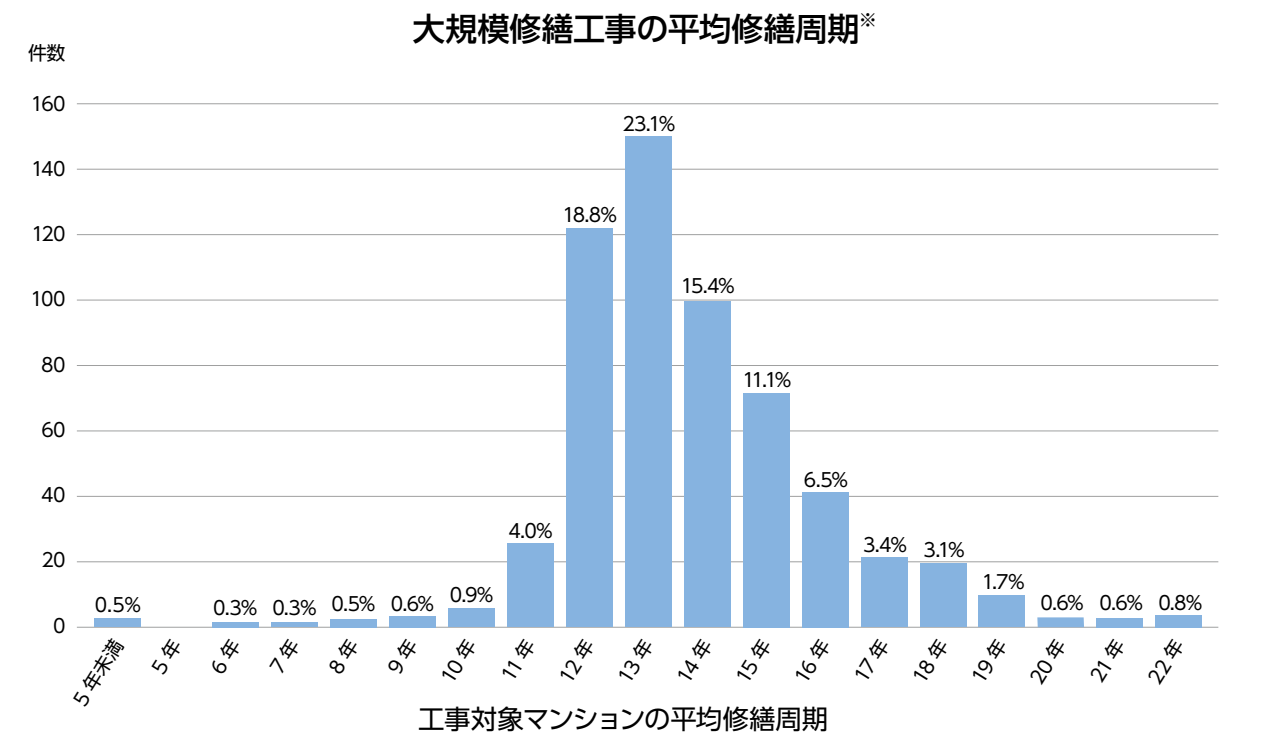
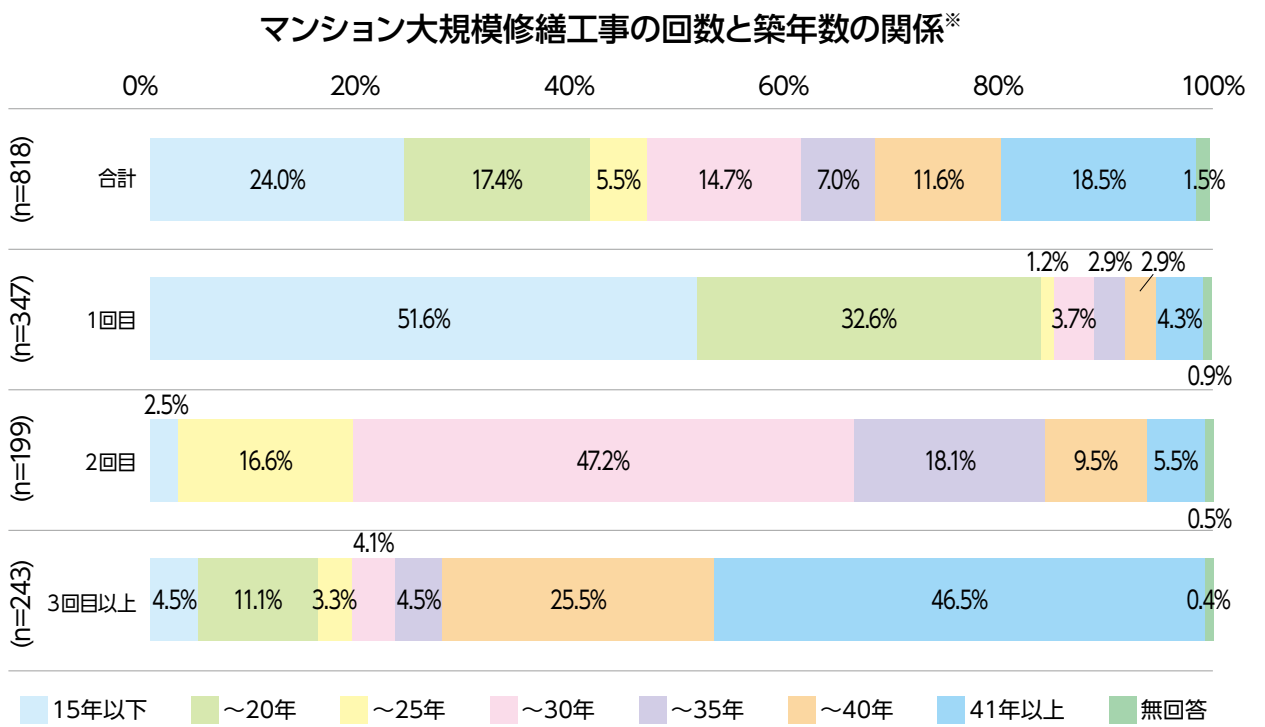




屋根形状や防水の種類は様々ですが、防水は必ず必要となります。

マンションの大規模修繕工事について

マンションの大規模修繕工事は、経年により劣化した建物を修繕することで、快適な居住性を取り戻すと同時に資産価値を維持するためにも重要な工事となります。大規模修繕工事では屋上防水を始め、外壁や共用部の床、設備などが対象となります。



※令和3年度マンション大規模修繕工事に関する実態調査について（国土交通省）より引用

マンション大規模修繕工事の7割が12～15年の周期で実施しています

防水の種類

防水の種類は主に 3 種類

防水層を
“張って”
作る工法

シート防水



環境にやさしく、簡便な
工事が可能。豊富な
バリエーションも魅力。

メリット

- ・軽量である
- ・溶融着により一体化が可能
- ・様々な下地や既存防水層に対応可能
- ・天候の影響を受けにくい
- ・工期が短い
- ・コストが安い

デメリット

- ・外部損傷にやや弱い
- ・穿孔時に騒音が発生する

防水層を
“張って”&“塗って”
作る工法

アスファルト防水



ノアの方舟にも使われたと
言われる世界最古の防水法

メリット

- ・長年の実績があり信頼性が高い防水
- ・防水性が高い
- ・複層のため耐久性が高い
- ・耐衝撃性にすぐれる

デメリット

- ・施工中に特有の臭気が発生する
- ・他の防水に比べて重い
- ・工程が多いため、工期が長い
- ・天候の影響を受けやすい
- ・コストが高い

防水層を
“塗って”
作る工法

塗膜防水



柔軟な施工が可能
場所を選ばない
便利な防水法

メリット



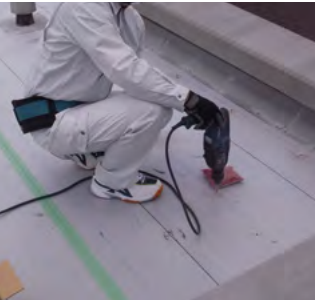
- ・軽量である
- ・つなぎ目のない防水層を形成
- ・複雑な形状にも容易に施工
- ・狭小部で施工が可能

デメリット

- ・施工品質が作業員の力量に影響される
- ・反応系のため施工環境の影響を受けやすい
- ・他の防水に比べて耐久性が劣る
- ・施工後に養生が必要
- ・外部損傷にやや弱い

防水改修の種類

屋上防水の改修で多く採用される 3 つの工法について特徴を下記の表で比較します。

工法の種類	改質アスファルト防水 トーチ工法	ウレタン塗膜防水 通気緩衝工法	塩ビシート防水 機械的固定工法
概要	既存防水層を撤去、 下地調整した後に 防水層を施工する	既存防水層に 下地処理を行い、 防水層を施工する	防水層を既存防水の 上から躯体に 直接アンカー固定する
イメージ			
工期	△	○	◎
コスト	△	○	◎
施工性	◎	○	◎
下地処理	△	△	◎
下地乾燥	△	△	◎
臭気	△	△	○
騒音	○	◎	△
雨養生	△	△	◎
期待耐用年数	15 年	15 年	15 年

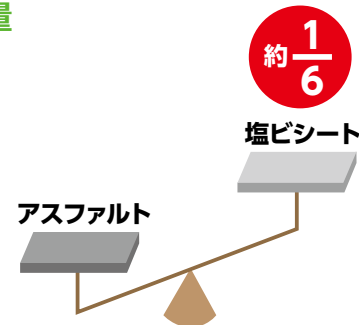
◎:優 ○:良 △:可(メーカー調べ)

下地処理がほとんど不要なことや工期が短いなど
塩ビシート防水機械的固定工法は防水改修に最適です

塩ビ防水シートと工法の特長

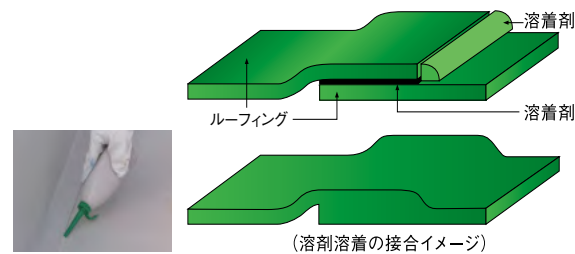
年間約 400 万㎡の施工実績を誇るロンシールの塩ビシート防水工法。塩ビシート防水の基本性能を含め、防水工法のメリットを紹介します。

①軽量



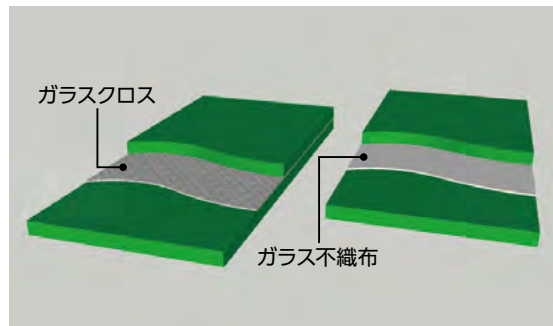
塩ビシートは2～3kg /㎡とアスファルト防水に比べて軽量なので、建物への負荷が軽減されます。

②接合性能



接合部は溶着液による溶着接合と、熱風溶接機による融着接合により一体化。長時間にわたり高い水密性を維持します。その水密性の高さからプールでも使用されています。

③安定した材料品質



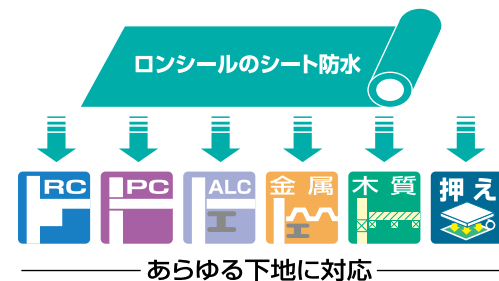
日本産業規格 (JIS) に適合し、国による第三者登録認証機関の品質管理基準を満たした信頼性の高い防水シートです。

④仕上塗装が不要



ロンシール工業の塩ビシートなら露出状態での耐候性が高く、シート自体に着色してあるためトップコートの塗布が不要です。

⑤さまざまな既存防水に対応可能



建物自体にそのままシートを固定するため、既存防水の種類や、建物の材質によらず防水改修が可能です。

⑥自己消火性



主材料の塩化ビニル樹脂は燃えにくい特長があります。近隣で火事が発生し火の粉が飛んできた場合でも、自己消火性により燃え広がらないため、もしもの時にも安心してお過ごしいただけます。

塩ビシート防水の改修工法には機械的固定工法と接着工法の2種類があります。機械的固定工法で施工すれば、既存防水層にかぶせて施工できるので、1回目の改修だけでなく、2回目、3回目の防水改修も可能です。また特殊シートを用いることで、接着工法による防水改修もお選びいただけます。

機械的固定工法

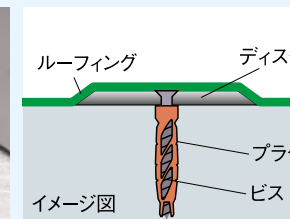
建物と塩ビシートをディスク板で支持する工法です。下地の影響を受けにくく、改修工事の場合には工期短縮を図ることができます。ロンシールの機械的固定工法には、UD 工法（先打ち）と US 工法（後打ち）の2種類があります。

UD 仕様（先打ち仕様）

専用ビスで下地（建物屋上）に固定したディスク板の上に塩ビシートを敷き、上から専用の機械で熱を加えることで塩ビシートとディスク板を接合する工法です。



ディスク板のイメージ



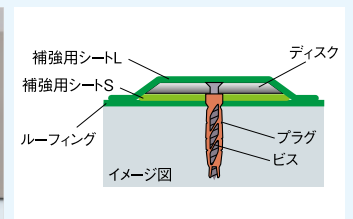
イメージ図

US 仕様（後打ち仕様）

建物に塩ビシートを敷き、その上からディスク板で建物に塩ビシートを固定する工法です。



ディスク板のイメージ



イメージ図

施工性と意匠性にすぐれる

耐風圧性と固定強度にすぐれる

接着工法

接着剤を塗布して防水シートを張りつける工法です。シートが屋上の全面に接着されることにより、意匠性と耐風圧性にすぐれます。一般的には既存防水の状態に応じて下地処理が必要となります。



ベストプルーフプラス接着改修工法



特殊な塩ビシートを用いることで下地調整を簡略化できます。既存防水の撤去が不要なため、施工性にすぐれます。（既存防水層の種類によっては対象外）

防水改修提案

塩ビシートのパイオニア**ロンシール**だからできる**防水改修**

屋上防水だけでなく、バルコニーや開放廊下などトータルで対応できます。また、集合住宅だけでなく工場や倉庫、施設にも対応しております。お客様のご要望に応じて“防水改修”をコーディネートいたします。

屋上緑化……………P16

耐根性にすぐれる塩ビシート防水は屋上緑化に最適です。



ダイレクトカバー工法… P17

開放廊下やバルコニーに施工された長尺床材を剥がさずに上から被せて施工できます。

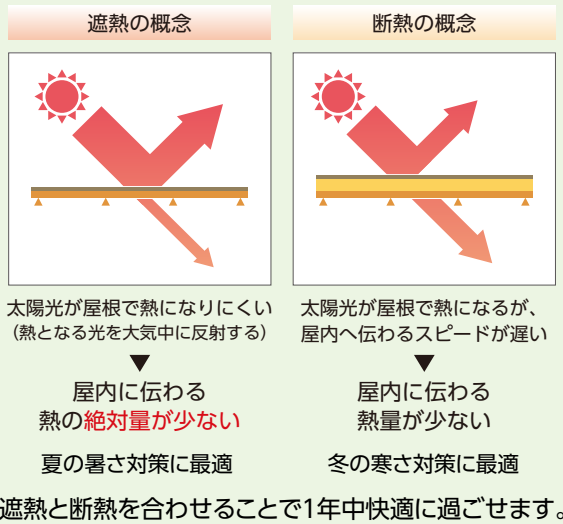


高耐風圧仕様 SPRS 仕様・P17

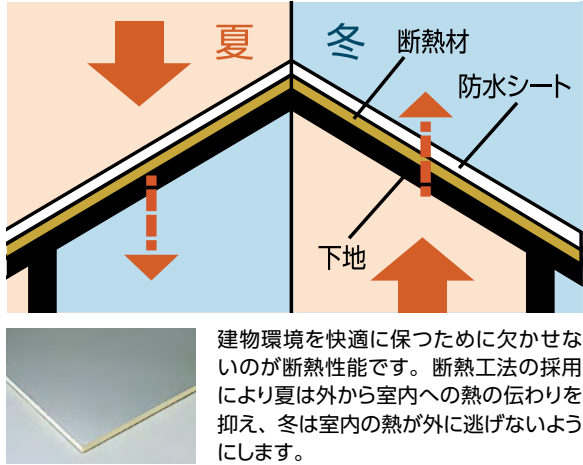
高層建築物や強風地域に最適です。



遮熱と断熱の違い



断熱材の効果



太陽光パネル設置工法…P16

塩ビ被覆された専用架台を使用することで塩ビシートと一体化が可能となり、すぐれた防水性能を発揮します。



遮熱防水仕様…………… P15

屋根の温度を下げライフサイクルコストの低減を目的に開発した遮熱シート。そして遮熱性能と放射性能を付与しさらにグレードアップさせた高性能ルーフィングをシート防水業界ではじめて開発しました。今後の暑熱対策に適した仕様です。



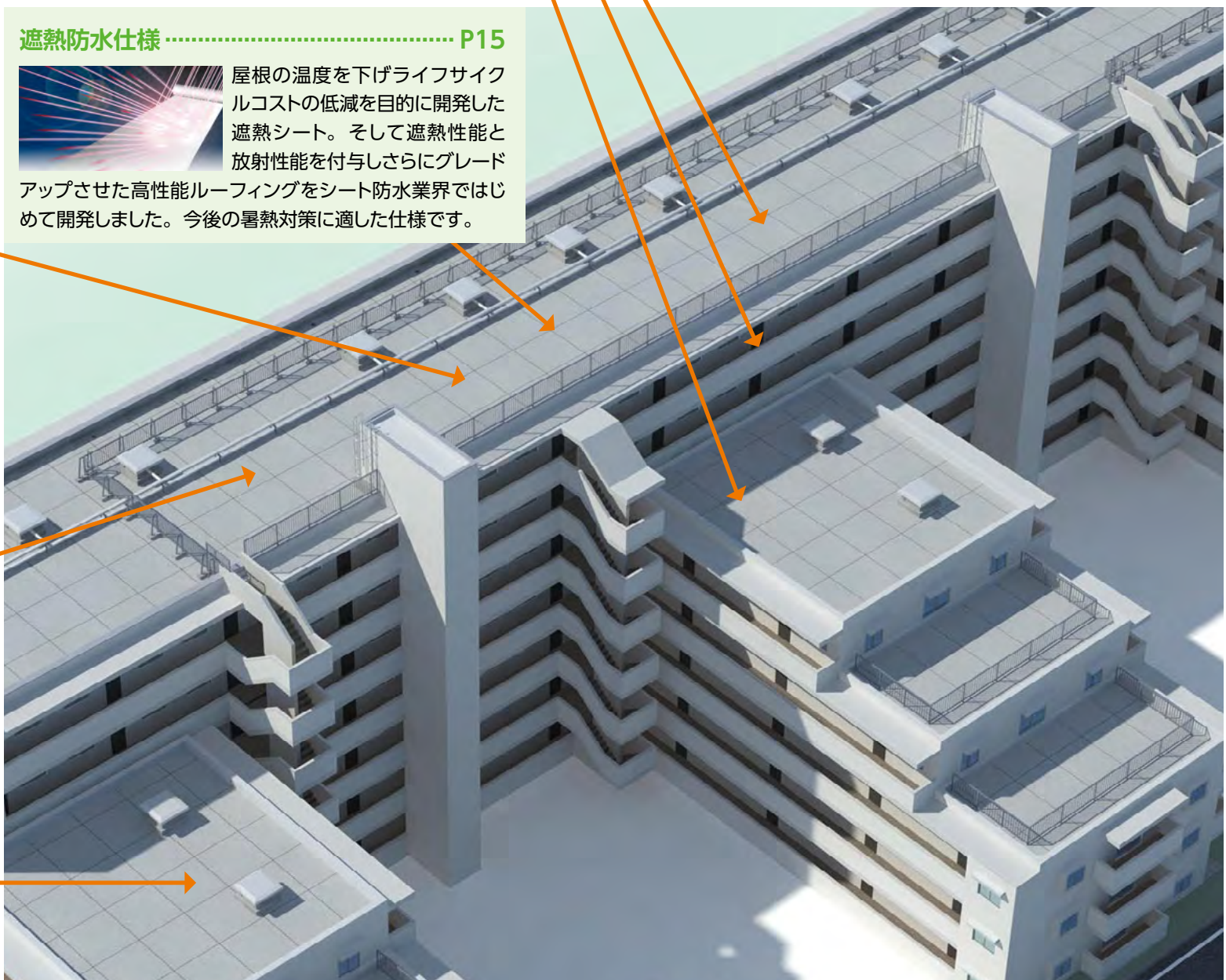
ヘリサインシステム……P16

災害時に空から視認しやすいマークやロゴを設置できます。



防滑性床材…………… P16

バルコニー・開放廊下はウレタン塗膜防水 + 防滑性床材ロンマット ME。



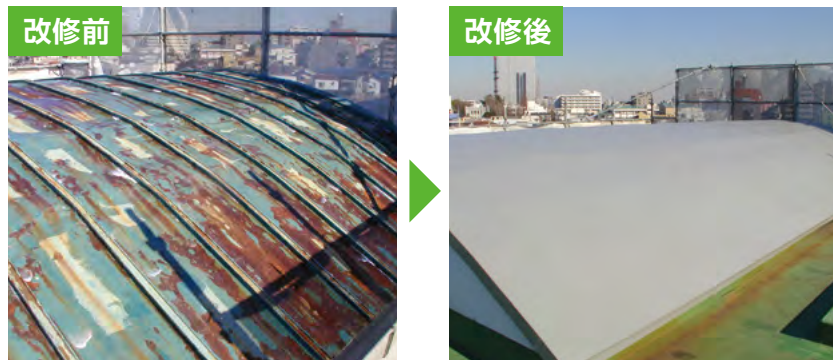
金属下地改修仕様………… P13

既存金属屋根でも外断熱工法でグレードアップして防水機能を復活させることができます。

金属折板の屋根



金属瓦棒の屋根

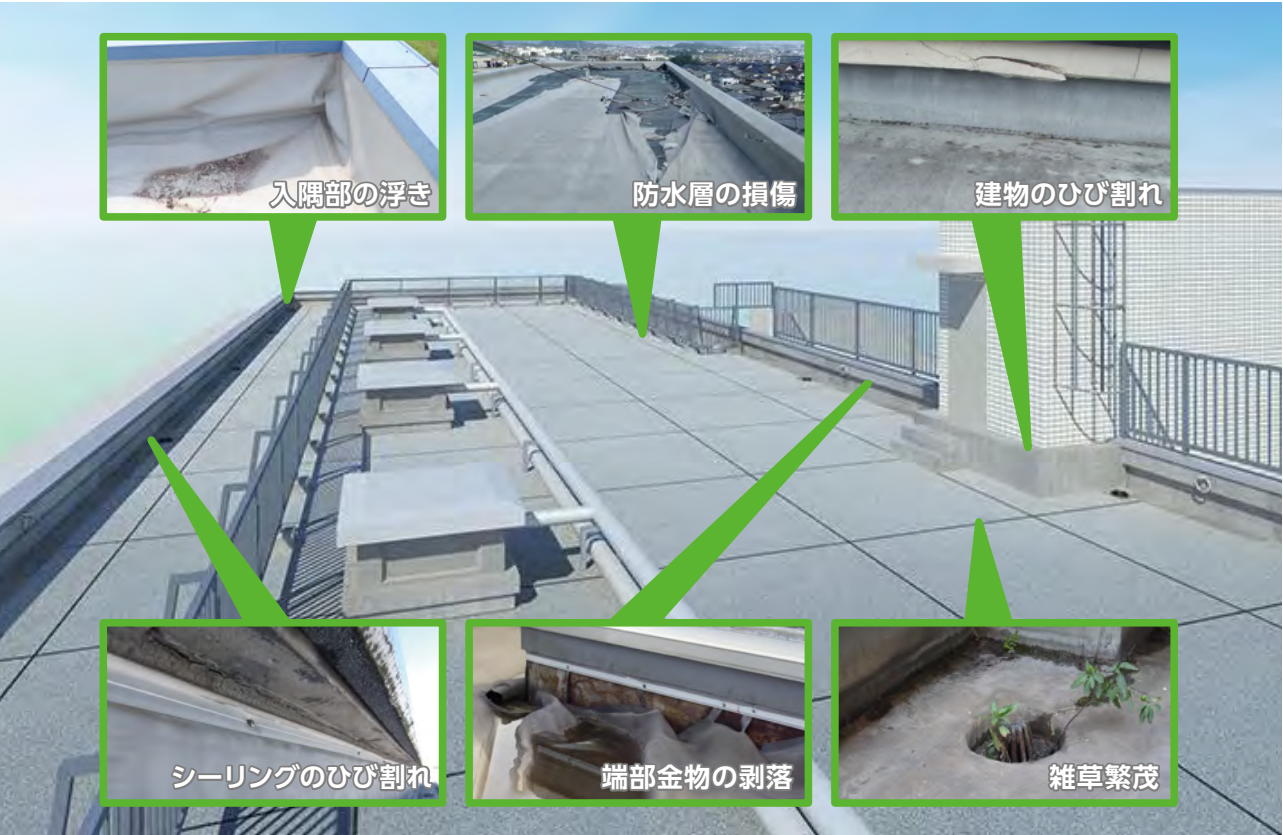


様々な建物に対応可能です

あなたの建物の屋上防水は大丈夫ですか？

屋上防水チェックリスト

屋上にこんな症状は発生していませんか？



以下のチェック項目と該当数で改修の必要性が分かります。ご自身の建物の屋上はいくつ当てはまるでしょうか？チェックしてみましょう。

要改修

☐ 室内に漏水が発生している

☐ 防水層が破れている

☐ 前回の防水工事から15年以上経過している

☐ 端部金物が剥がれている

☐ 入隅部に浮きが見られる

☐ 建物にひび割れが発生している

☐ ルーフドレインに損傷が見られる

☒ 1つ以上

お早めの改修をおすすめします

要改修 or 補修

☐ 防水層表面に傷がある

☐ 前回の防水工事から10年以上経過している

☐ 目地部に雑草が生えている

☐ 保護塗料が剥がれている

☐ シーリングにひび割れが発生している

☐ 接合部に剥離が見られる

☐ 金属笠木に腐食が見られる

☒ 3つ以上

細目に点検をお願いします

改修検討

☐ 防水層に浮きがある

☐ 伸縮目地に浮きがある

☐ 前回の防水工事から8年以上経過している

☐ 排水部に水が溜まる

☐ 表面に粉拭きがある

☐ 接合端部シール材の剥離

☐ 保護層に割れがある

☒ 1つ以上

細目に点検をお願いします

お早めの改修をおすすめします

と診断されたあなたには

費用は抑えつつ、長期間安心できる改修がしたい

210 仕様 P.13

110 仕様 P.14

ベストプルーフプラス 接着改修仕様 P.14

せっかくの防水改修、断熱性を付与し、快適な住空間を形成したい

125 仕様 P.14

127 仕様 P.14

225 仕様 P.13

227 仕様 P.13

126 仕様 P.14

・屋上を利用したい

・歩行したい

屋上にプラスαの機能はいかがですか？

■ 暑熱対策で夏を涼しく過ごしたい。

ベストプルーフシャネツ、ロンプルーフシャネツ P.15

イノベーションプルーフ RR P.17

■ 太陽光発電で電力を自給自足したい。

太陽光パネル設置工法 P.16

■ 屋上にあこがれの庭を。

ロンググリーン仕様 P.16

■ 災害時の備えを。救助ヘリの目印に。

ヘリサインシステム P.16

■ 居ながら工事に最適。改修工事の騒音抑制工法。

ベストプルーフプラス接着改修仕様 P.14・15

■ 海岸線沿いなどの風の強い地域におすすめ。

高耐風圧仕様 SPRS 仕様 P.17

11

12

断熱材不要の機械的固定工法スタンダード 210 仕様

機械的固定

断熱

210UD 仕様

非歩行

点検歩行

適応既存防水
保護コンクリート アスファルト防水 シート防水 ウレタン塗膜防水

210US 仕様

非歩行

点検歩行

適応既存防水
保護コンクリート アスファルト防水 シート防水 ウレタン塗膜防水

断熱材不要の接着工法スタンダード 110 仕様

接着

断熱

110 仕様

歩行

点検歩行

適応既存防水
保護コンクリート アスファルト防水 シート防水 ウレタン塗膜防水

ベストプルーフプラス接着改修仕様

非歩行

点検歩行

適応既存防水
保護コンクリート シート防水

断熱材対応の機械的固定工法 225・227 仕様

機械的固定

断熱

225・227UD 仕様

非歩行

点検歩行

適応既存防水
保護コンクリート アスファルト防水 シート防水 ウレタン塗膜防水

225・227US 仕様

非歩行

点検歩行

適応既存防水
保護コンクリート アスファルト防水 シート防水 ウレタン塗膜防水

断熱材対応の接着工法 125・126・127仕様

接着

断熱

126 仕様

非歩行

点検歩行

適応既存防水
保護コンクリート アスファルト防水

125・127 仕様

歩行

点検歩行

適応既存防水
保護コンクリート シート防水

金属屋根の機械的固定工法 SD-1 仕様

機械的固定

断熱

SD-1 225・227D UD 仕様

非歩行

点検歩行

適応既存防水
保護コンクリート アスファルト防水 シート防水 ウレタン塗膜防水

SD-1 225・227D US 仕様

非歩行


点検歩行

適応既存防水
保護コンクリート アスファルト防水 シート防水 ウレタン塗膜防水

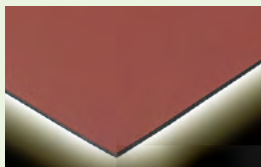
ロンシール工業の塩ビシートラインナップ

ロンシール工業の塩ビシートはお客様の『こんな塩ビシートが欲しい』の声にこたえるべく多様なラインナップを展開。ここでは改修の際に おすすめなシートをご紹介します。

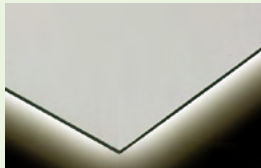
コストを抑えつつも十分な耐久性があるシートを選びたい！




■ ベストプルーフ



■ ロンプルーフエース



■ ニューベストプルーフ



■ 歩行 歩行用途に合わせて耐久性を向上させた2.0mm厚の塩ビシートです。

特定の人たちが防水層を傷つけない履物で建物を常時歩行することができます。
※下地、工法によってはこのシートを使用しても非歩行扱いとなる場合があります。


スタンダード

非歩行 点検歩行○

標準的に使用される1.5mm厚の塩ビシートです。

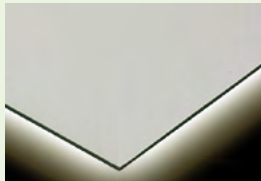
防水層を傷つけない履物であれば屋上設備の点検などの作業ができます。極めて歩行頻度が少ない用途向けです。


なにか暑さ対策が付与されているシートは？



■ ベストプルーフシャネツ (1.5mm)

■ ロンプルーフシャネツ (2.0mm)





遮熱防水工法

太陽熱を反射

太陽からの熱を強力に反射するから建物にやさしい

太陽光を効率よく反射して建物内部への熱流入を抑制。室内温度低減に寄与します。

オススメ

工期中の騒音を減らしたい！
工期も短くしたい！



■ ベストプルーフプラス (1.5mm)

接着改修工法専用



■ 非歩行 点検歩行○

塩ビシートにポリエチレン製の発泡層を積層しており、施工時の下地処理の手間を省くことができ、工期短縮が図れます。

低騒音

せっかくなら耐久性の高いシートにしたい！



■ ロンプルーフ SP (2.0mm)



■ 非歩行 点検歩行○

長期防水保証システム(15年保証)向けの高耐久塩ビシートです。従来の塩ビシートの耐久性を大幅に向上させました。

屋上に設置して30年経過した場合と同じ程度シートを劣化させ、耐久性を調べた試験では、一般的に防水シートとして求められる性能が、ロンプルーフ SPの場合に30年後も保持されていることが確認されています。

高耐久

屋上にプラスαの機能を付与

防水改修と一緒に屋根にさまざまな機能を付与できます。建物の資産価値向上にご検討ください。

太陽光パネル設置 (PV 支持架台シリーズ)




太陽光パネル設置時に必要な支持架台を、塩ビシート防水と同じく塩ビ素材で被覆することで架台部分と防水シートをしっかりと接合できるようになりました。漏水の心配なく長期間安心してお使いいただけます。




防水仕様に応じてさまざまな形状の架台を用意しております。

屋上緑化 (ロンググリーン仕様)



屋上緑化における防水層として塩ビシート防水が最適です。接合部を一体化することで植物の根が育成してもシートがダメージを受けないほどの高い耐久性を有しており、長期間安心してお使いいただけます。



高い接合強度により耐根シートが不要のため、工期の短縮が図れます。6年に及ぶ耐久試験を行いました。シートや防水機能への影響は見られませんでした。


防滑性床材 (ロンマット ME シリーズ)



塩ビシートに防滑性床材を施工することで歩きやすさと意匠性をUP。屋上やバルコニーの防水シートの他にも開放廊下や階段向けの仕様も用意しております。

バルコニーでの採用例

災害救助用ヘリサイン



塩ビシートに再帰反射フィルムヘリサインシートを施工することでもしもの災害時に空から目的地として建物を探すことができます。文字やQRコードなどオーダーメイドで好みのデザインに対応いたします。

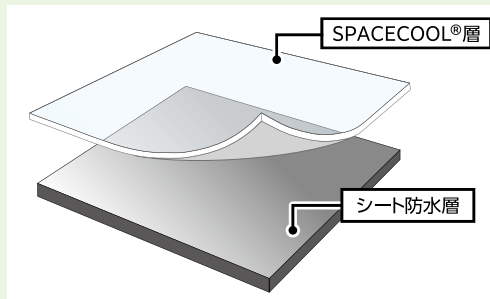
屋上にプラスαの機能を付与

Q&A

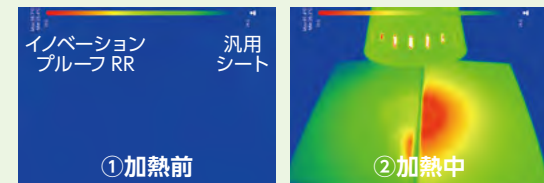
高反射性・高放射性防水シート「イノベーションプルーフ RR」

電気代節約

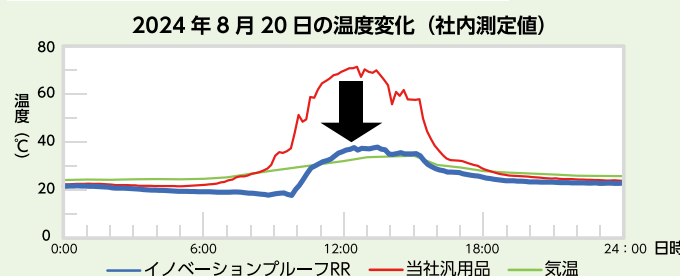
これまでにない放熱性能を追加した新しい環境対応型塩ビシート



塩ビシートの表面温度を下げる遮熱機能を UP。さらに放熱機能を付与することで従来の遮熱品に比べて大幅な表面温度低減を実現！



放射冷却素材 SPACECOOL® 素材を塩ビシートに積層



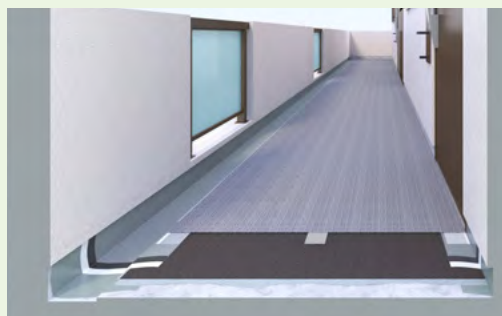
当社汎用品と比較して
最大表面温度差は約 $-20 \sim -30^{\circ}\text{C}$ ※
※測定値、計算値であり保証値ではありません。

屋根の表面温度が下がると……
冷房負荷軽減により
日中の冷房消費電力や、
CO₂排出量を削減し、
カーボンニュートラルにも貢献

マンション開放廊下・機械的固定改修工法「ダイレクトカバー工法」

工期短縮

居ながら工事を可能にしたマンション修繕の次世代改修工法



既存の床材を撤去せずに、新しい床材をかぶせて施工する新しい乾式工法です。従来工法で発生する騒音・移動制限・臭気などの問題を解決し、工期の短縮化も図れる新発想の床改修工法です。



高耐風圧仕様 SPRS 仕様

高耐風

強風地域での施工も可能な耐風圧性にすぐれる工法



防水シートと固定部の構成を変更することで、従来の US 工法の 1.5 倍の固定強度を実現！沖縄をはじめとした強風地域での施工はもとより、高層建築物での施工にも最適な工法です。
基準風速 30m/s なら 高さ 100 m まで対応可能。
※適用には条件がございます。最寄りの弊社支店までお問合せください。

固定強度：5,000N/箇所

Q1 かなり劣化している古い建物ですが改修できますか？

A1 改修後、長期的に防水層が維持できるように事前に試験し判断します。機械的固定工法の場合には穴あけ箇所の補強材もありますのでまずはご相談ください。

Q2 防水層の劣化状況を調べることはできますか？

A2 マイクロスコープ(拡大鏡)により防水層の表面を確認することで調査可能です。最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。

Q3 防水層の上は歩けますか？

A3 歩行仕様であれば可能です。なお、非歩行の仕様であっても頻度の少ない点検程度の歩行であれば問題ありません。

Q4 防水の保証は何年間ですか？

A4 最長 10 年になります。長期防水保証システムにて施工した場合は最長 15 年となります。

Q5 防水層をかぶせて施工しても、建物への負担は問題ありませんか？

A5 防水層の重量は 2 ～ 3kg / m²と軽量なためほとんど建物に影響を与えることはありません。

Q6 建物に穴をあけて固定する、とありますが問題ないのですか？

A6 建物にアける穴は 2 ～ 3 か所 / m²程度であり業界の検証※でも鉄筋コンクリート造の建物に問題ないことが確認されています。 ※日本大学と合成高分子ルーフィング工業会による試験結果より

Q7 ゲリラ豪雨などでも排水機能に問題はありませんか？

A7 改修の際には現状の排水機能を担うドレイン部の大きさと設置個数から排水量を計算し、問題がないことを確認したうえで施工します。

Q8 施工中に騒音やにおいは発生しますか？

A8 機械的固定工法の場合は建物に穴を開ける場合に騒音が発生します。接着工法の場合は使用する接着剤の種類によってにおいが発生する場合があります。

Q9 施工業者の選定はできますか？

A9 全国に塩ビシートを専門的に扱う組合員がおりますので、最寄りの弊社支店までお問い合わせください。

Q10 防水層の清掃時に気をつけることはありますか？

A10 防水層を傷つけないようにお願いいたします。また洗剤は中性のものをご使用いただき洗浄後、十分に洗い流してください。排水部分のごみを定期的に撤去していただくと、より長持ちいたします。

防水改修の流れ

防水改修ご検討から、工事完了までどのように進めていくのか、その一例をご紹介します。

1 お問い合わせ

- ・既存防水の状態は大丈夫か？
- ・防水改修を行いたい、どの工法がよいかわからない
- ・漏水が発生しているが原因がわからない
- など、お困りことがありましたらまずは最寄りの支店までご連絡ください。

2 現場調査の実施

お問い合わせいただいた内容をもとに現場調査を実施します。特に漏水が発生している場合につきましては原因の特定を行い、最適な防水工法・納まりを検討します。また、材料搬入や保管場所、周辺環境なども確認し、施工時に問題となるような箇所がないかについても確認いたします。

3 改修工法のご提案

現場調査の結果や改修においてのご要望を反映させたご提案をいたします。

4 お見積もりの提出・契約

ご希望の仕様に応じたお見積もりを提出いたします。内容に相違がなければ契約を締結し、工事期間などの詳細を打合せさせていただきます。

5 改修工法の実施

ご提案させていただいた内容をもとに、改修工事を実施します。

6 お引渡し

工事完了後に自主検査を実施し、契約内容と相違がないことを確認します。その後、施主検査を実施してお引渡しとなります。

防水改修工事完了確認書			
確認項目	確認結果	確認者	確認日
1. 防水材の品質・施工状況			
2. 防水層の厚み・納まり			
3. 防水層の強度・耐久性			
4. 防水層の防水性能			
5. 防水層の施工方法			
6. 防水層の施工時間			
7. 防水層の施工場所			
8. 防水層の施工状況			
9. 防水層の施工結果			
10. 防水層の施工完了			

防水改修の依頼はロンプルフ防水事業協同組合へ

ロンプルフ防水事業協同組合は全国 280 社にまたがる施工組織です。施工品質確保のため施工業者に対して定期的な講習会の開催や施工指導などのサポートを実施しております。また、近年深刻となっている技能士不足に対しても、技能士育成学校の開催など、若手技能士の育成にも積極的に取り組んでいます。

定期的に研修会を開催

施工技術は時代の流れに応じて進歩するものです。そこで組合員は定期的に研修会に出席し、最新の製品・商品の紹介や、施工に関わる注意点などを説明し、施工品質の確保に努めています。また、専門の委員会を開催し、新製品や新工法の検討や拡販に向けての活動を実施しております。



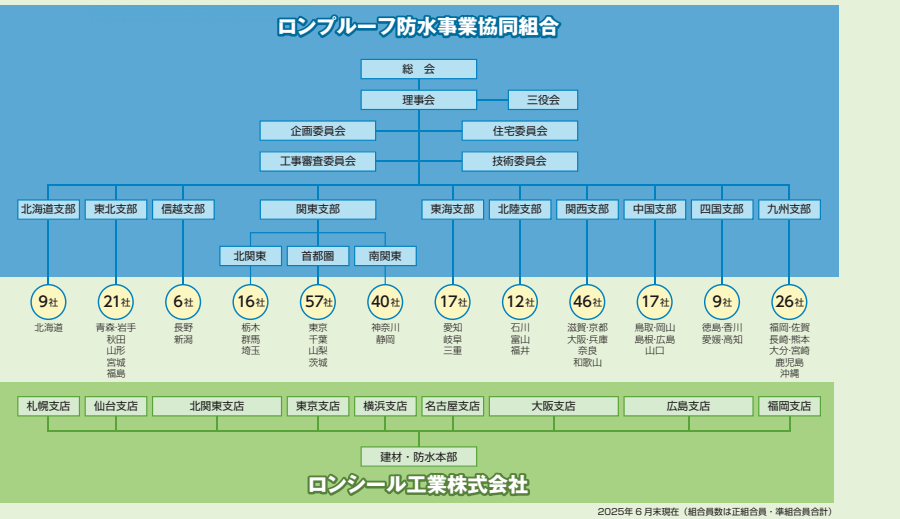
施工技能研修会の実施

ロンプテクニカルスクールにて施工架台を用いた施工演習を実施。防水技能士取得のサポートを行うとともに、施工技術の向上にも貢献しております。



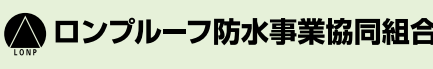
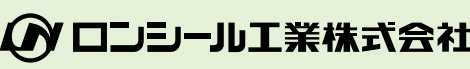
全国的な施工体制

47 都道府県すべてに組合員が所属しており、全国どこでも防水改修が対応可能です。



安心の保証体制

防水施工には防水保証が求められます。確かな材料品質と施工品質による防水改修をご提供いたします。



材料品質を担保

防水保証

施工品質を担保

お近くの施工店の検索にはこちらの QR コードをご活用ください。
または URL <http://www.lonproof.or.jp/profile/company.html>



採用事例

塩ビシート防水はさまざまな用途の建物や屋根形状に採用されています。

集合住宅



施工前



施工後

東京都 採用工法：210UD 仕様 既存防水：塩ビシート



施工前



施工後

秋田県 採用工法：210UD 仕様 既存防水：塩ビシート



施工前



施工後

秋田県 採用工法：210US 仕様 既存防水：塩ビシート



施工前



施工後

秋田県 採用工法：210UD 仕様 既存防水：塩ビシート



施工前



施工後

福島県
採用工法：210UD 仕様
既存防水：塩ビシート



施工前



施工後

岩手県
採用工法：210UD 仕様
既存防水：塩ビシート



施工前



施工後

埼玉県
採用工法：110 仕様
既存防水：保護コンクリート

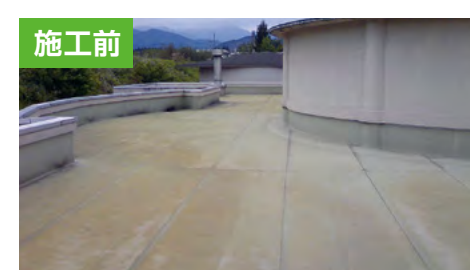


施工前



施工後

北海道
採用工法：210US 仕様
既存防水：アスファルト



施工前



施工後

群馬県
採用工法：210US 仕様
既存防水：塩ビシート



施工前



施工後

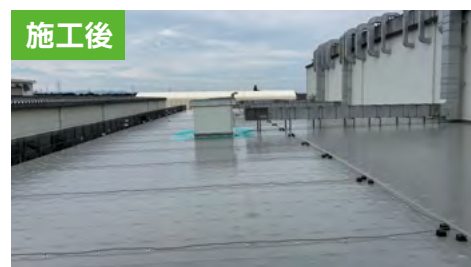
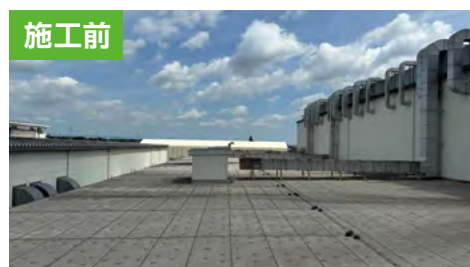
山口県
採用工法：210UD 仕様
既存防水：ウレタン塗膜

採用事例

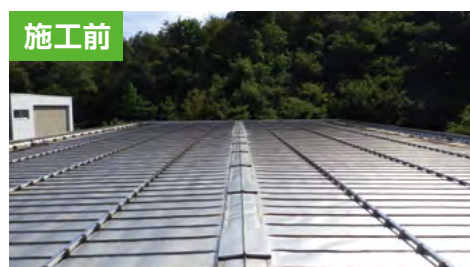
事務所・工場



神奈川県
採用工法：210UD 仕様
既存防水：ウレタン塗膜



三重県
採用工法：110 仕様
既存防水：塩ビシート



秋田県
採用工法：110 仕様
既存防水：ステンレス防水



新潟県
採用工法：210UD 仕様
既存防水：アスファルト



兵庫県
採用工法：110 仕様
既存防水：塩ビシート



秋田県
採用工法：210US 仕様
既存防水：ゴムシート

施設



奈良県
採用工法：110 仕様
既存防水：ゴムシート



埼玉県
採用工法：210UD 仕様
既存防水：ゴムシート



岐阜県
採用工法：210UD 仕様
既存防水：アスファルト



宮城県
採用工法：210UD 仕様
既存防水：塩ビシート

イノベーションプルーフ RR

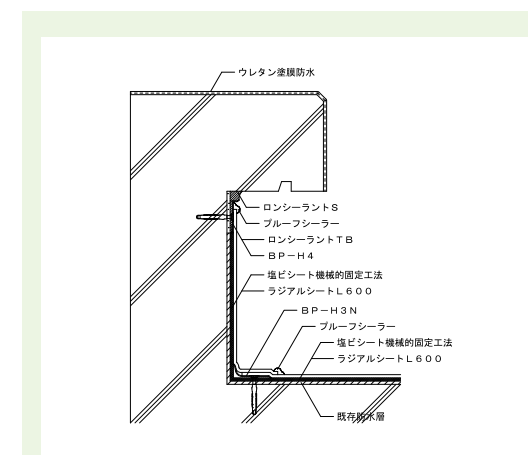


東京都
採用工法：210UD 仕様
既存防水：ウレタン塗膜

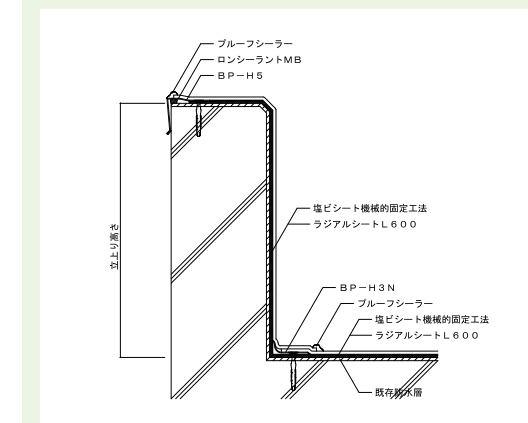
納まりについて

長期的な防水性能を確保するには、適切な納まりによる施工が重要となります。

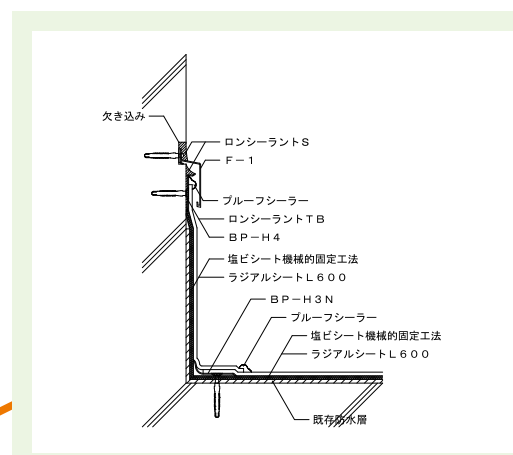
塩ビ鋼板、アルミ金物、シーリング材などを使用して、各部位における最適な納まりをご提案いたします。



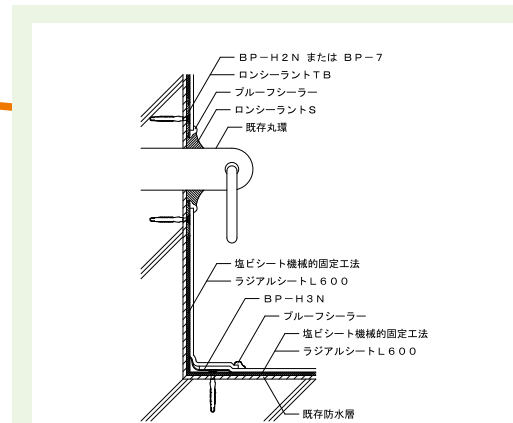
パラペット (あごあり)



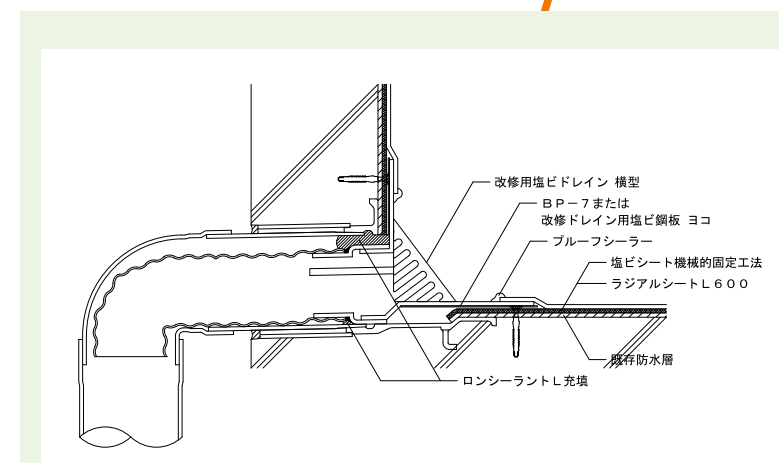
パラペット (あごなし)



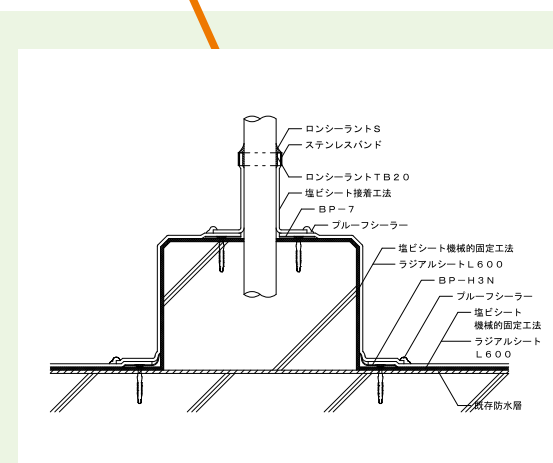
壁部



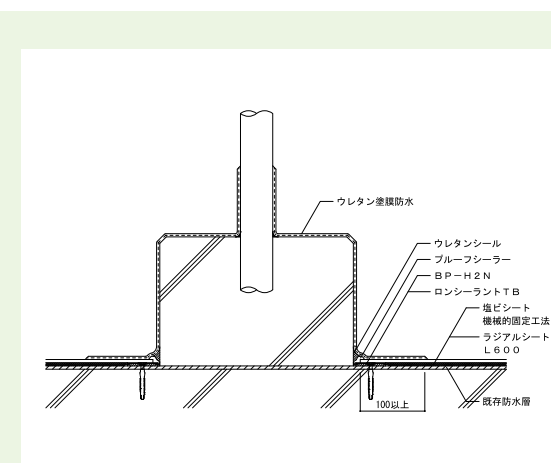
吊環部



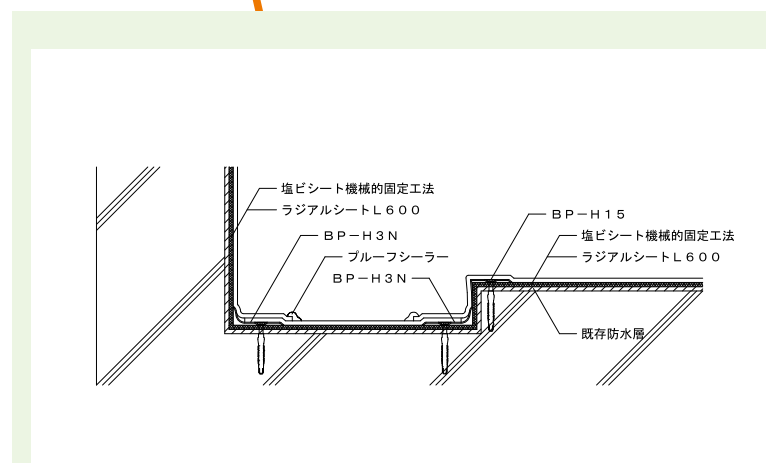
ドレイン部



架台部 (シート巻き込み)



架台部 (ウレタン塗膜防水併用)



側溝部